



Lions Clubs International
FOUNDATION

課題に立ち向かう: 河川盲目症との闘い



深刻な視力の危機

世界全人口40パーセントが、水不足に悩まされています。それなのになぜ豊かに流れる河川のそばの肥沃な土地や家を捨てていかなばならないのかは、理解しがたいことです。けれども、そうしなければならない人々があります。それも、正当な理由があつてのことです。

糸状虫症です。

河川盲目症という名前で最も知られている糸状虫症（オンコセルカ症）は、感染した黒バエに噛まれることによって引き起こされる、苦しい病気です。その黒バエは流れの速い河川のそばで繁殖します。激しいかゆみ、発疹、皮膚の変色、失明に至る可能性のある目の病気、などが主な症状です。しかし、苦しいのは身体的な症状だけではありません。

絶望から希望へ

世界保健機関は、次のような厳しい数を推定*しています。

- 少なくとも2,500万人が河川盲目症に感染しており、1億2,300万人が感染の危険のある地域に在住している。
- この寄生虫のために、30万人が失明しており、80万人が視力障害を発症している。
- 感染者のほぼ99パーセントがアフリカに、残りはイエメンとアメリカ大陸の6か国に居住している。



*出典: https://www.cdc.gov/parasites/onchocerciasis/gen_info/faqs.html

河川盲目症との闘い



河川盲目症の生理的な影響はすでに認識されています。さらに深く、目に見える影響も見えない影響も考えてみると、この悲惨な状況はますます厳しいものとなります。感染した黒バエはもっとも肥沃な土地の水のそばで驚くべき速さで繁殖し、数を増やします。その病気を避けるため、多くの人たちが、谷川のそばにある家、土地、家畜を捨てていかなければなりません。それは世界で最も貧しい地域のいくつかにある多くの村々の経済生産性を破壊することになり、河川盲目症の被害の影響は何倍にもふくれあがります。

しかし、希望はあります。こんにち、河川盲目症の伝染は、ナイジェリアのプラトー州とナサラワ州で食い止められ、河川盲目症が風土病として最も広まっている国を、明るい未来の可能性に導いています。さらに、世界保健機関は、ライオンズクラブ国際財団(LCIF)の支援のもと、2013年にコロンビアが、そして2014年にエクアドル、2015年にメキシコ、2016年にグアテマラがそれぞれ、河川盲目症の撲滅に成功したことを確認しました。

では、この希望はどのようにもたらされたのでしょうか？

河川盲目症の撲滅に近づく一歩

今日までに、LCIFは約4,500万米ドルの交付金を世界中での河川盲目症との闘いに提供しています。そのうち約2,800万米ドルが、ライオンズとカーター・センター（TCC）が協力した河川盲目症プロジェクトの資金となりました。

TCCは、元アメリカ大統領（ライオン会員でもある）ジミー・カーター氏とロザリン・カーター元大統領夫人が創立しました。平和の追求、病との闘い、希望を育てることを目標とした組織です。その使命はライオンズクラブ国際協会

と国際財団の両方の使命と戦略的に一致しており、TCCは人類に奉仕するために励むライオンたちの力強いパートナーとなっています。このパートナーシップは、視力ファースト・プログラムの成功と働きにより**1,700万件以上の治療をおよそ900万人に届けました**。LCIFは我々の交付金により2億7,500万件のメクザチンによる治療（うち2億1,800万件はカーター・センターとのパートナーシップを通じて）を行いました。



カーター元大統領、カーター・センターの職員たちと会うライオンズのリーダーたち

主要なパートナーとのリソース活用



THE
CARTER CENTER



1994年よりライオンズクラブ国際財団の貴重なパートナーであるカーター・センターは、ナイジェリア政府と協力して、25年以上にわたり河川盲目症と闘っています。その努力によって、抗寄生虫薬イベルメクチン（アメリカ合衆国を本拠とするメルク社からの寄付）の集団投薬（MDA）を、プラトー州とナサラワ州において、ついに停止することができたのです。これは、河川盲目症との闘いにおける、これまでで最大のMDA停止を意味しています。

LCIFはTCCに6,300万米ドルの支援を行い、アフリカとアメリカ大陸における河川盲目症とトラコーマ（予防可能な細菌感染）と闘うプログラムの資金提供をしてきました。総合して、ライオンズとTCCのパートナーシップは、2億1,400万件のメクチザンによる治療を11か国で配布することにつながりました。

“「プラトー州とナサラワ州で集団投薬プログラムを停止することができたことは、大きな業績です。」TCCの河川盲目症根絶プログラムディレクター、フランク・リチャード博士は言います。「しかし、再発防止のため、あと数年の間は注意深く観察を続けねばなりません。さらなる努力と注意が必要です。」

”

成功を喜び、更なる取り組みを再確認すること

今年初頭、LCIFは、アメリカ合衆国ジョージア州アトランタのTCC本部で、最高執行責任者であり親善大使（退任済み）であるメアリー・アン・ピーターズ氏を訪ねました。4半世紀近くにわたるパートナーシップを喜ぶ一方、共通のビジョンについても話題に上りました。エチオピアにおける河川盲目症伝染の根絶、予防可能な細菌感染であるトラコーマによる失明の根絶がそれです。

LCIFとピーターズ氏は互いにTCC-LCIFパートナーシップの力について述べ、また、そのパートナーシップによってなされた、またこれからなされるであろう、業績について考えを出し合いました。

祝典の締めくくりとして、新しい同意覚書に署名がなされました。2020年までにLCIFが1,600万米ドルをTCCの河川盲目症とトラコーマプログラムを支援するために提供するという誓約です。

LCIFからのさらなる支援を受け、ライオンズとカーター・センターのエチオピアにおける視力ファースト河川盲目症根絶プログラムは、2020年末までに糸状虫症感染を撲滅することを目標として働き続けます。

LCIFの提供する資金はカーター・センターとライオンズとエチオピア政府が、河川盲目症とトラコーマ撲滅に向けて前進する助けになります。さらに、その支援は、マリとニジェールのトラコーマ撲滅国家プログラムを助けることにもなります。

前進

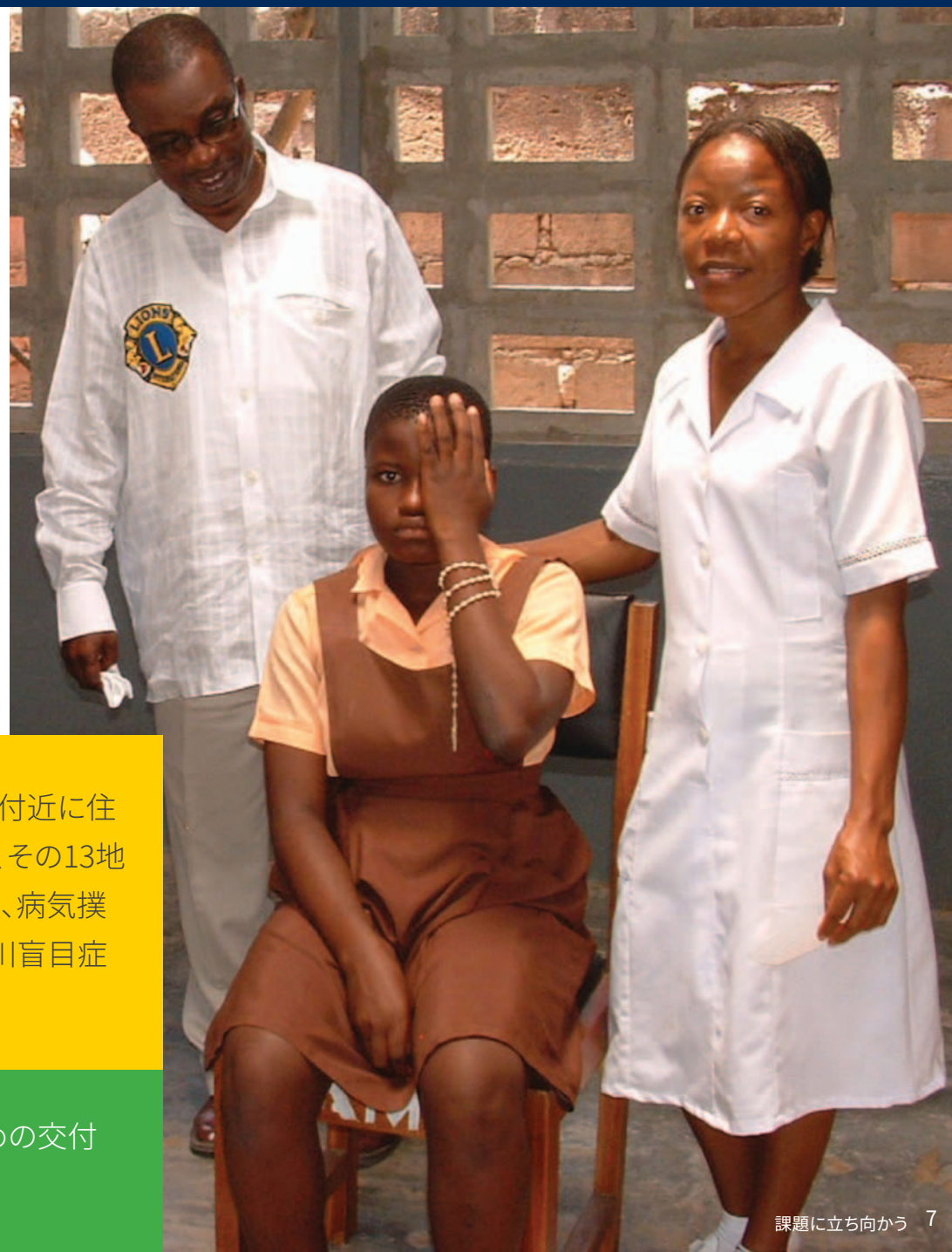
プラトー州とナサラワ州におけるナイジェリアの成功は、河川盲目症撲滅がアフリカで達成可能なことを示しています。精いっぱい努力は続けて行かねばなりません。ナイジェリアの他の州やその他のアフリカの地域に住む人々が、いまだ病に侵されています。

これからも続けていこうと予想される活動の鍵となるものは、以下のものを含みます(これだけに限りません)。

- プロジェクトのスタッフ、ボランティア、地域の医薬品卸売業者、医療従事者の訓練と能力向上のための活動
- プログラムの意思決定に生かすため、昆虫学的・疫学的な調査、その結果の実験室における分析を続けること
- すべてのライオンズとカーター・センターの支援地域で年2回のイベルメクチン治療を続けて実施すること。新しく地図に記載された風土病地区における高リスク人口の治療に組み込むこと。
- 健康教育と認識づくりを地域とプロジェクトエリアに広めること。
- 8-10回の治療クールを完了した地区における効果の査定

今現在、河川盲目症の撲滅活動は、ブラジルとベネズエラの国境付近に住むヤノマミ族の人々に焦点が当てられています。2017年の時点で、その13地域のうち11地域において、伝染が阻止されています。アフリカでは、病気撲滅活動の推進により、スーダン、ウガンダ、エチオピアの一部で河川盲目症に対する集団投薬が停止されています。

ライオンズの地区が大規模な人道奉仕事業を企画・実施するための交付金についての詳細は、lci.org/Grants をご覧ください。



ライオンズを支援する。人類に奉仕する。希望を与える。

河川盲目症によってもたらされた痛み、変形、失明は、予防することが可能です。TCCとLCIFとのパートナーシップと、メルク社のような大手製薬会社からの寄付によって、世界規模での河川盲目症の撲滅の目途が立つのもすぐかもしれません。

約75パーセントの視力障害は、多くの場合ほんの数ドルで予防や治療が可能です。LCIFはキャンペーン100を通じ、我々の財団が4半世紀以上支援してきた、回避できる失明を世界中からなくす、という取り組みを続けていきます。それによって、次のような努力が続けられるでしょう。

- 3,000万人の視力を改善または回復
- 眼科医療を受けられる人々を世界中で増やすため、4億1,500万ドルを拠出

河川盲目症の撲滅のための取り組み



あなたのサポートにより、我々の財団は以下のことを行います。



- 資金拡大、機器供給、人材育成により、包括的な眼科医療施設とシステムの構築と強化において**世界を導きます**。
- 世界保健機関と協力して、児童への眼科医療サービス供給により、**ライオンズの世界におけるリーダーシップを再確認します**。
- 糸状虫症（「河川盲目症」）やトラコーマは、失明につながる病気であり、世界における感染による失明や視力障害の最大の原因です。ボランティアの研修と監督、啓発活動、外科手術サービス、正しい薬の配布などを通じて、これらの病気の撲滅を目指す**国家の取り組みを支援します**。
- 矯正されていない屈折異常による視力減退の問題において、高質で丈夫な、高い効果のある矯正サービスを提供するプロジェクトを支援することによって、**世界からの支援活動を導きます**。
- 支援の行き届いていない地域にサービスを届ける革新的かつ画期的なアプローチを展開できるよう、ライオンたちとパートナーたちを力づけ、励ますために、**視力ファースト・チャレンジ交付金を設けます**。
- 成人及び子供向けにライオンズが中心となって行う総合眼科検診プログラムを**拡充します**。



世界中での感染による失明の撲滅、予防できる失明と視力障碍の減少、そして盲人と視力障碍者への支援を提供することによる全般的な生活の質の向上といった取り組みを先頭に立って進めるためにキャンペーン100がどのような働きをしているかを知るには、lcif.org/BE100を参照してください。

100米ドルの寄付によって、白内障手術2件を行うことができます。

世界中で展開するライオンズの思いやりあふれた事業を支援するには、下記の寄付ボタンをクリックし、LCIFの「奉仕に力を」資金に大きな影響をもたらしましょう。

**力を合わせれば、できます。力を合わせて
「われわれは奉仕する」からです。**

今すぐ寄付を！



**Lions Clubs International
FOUNDATION**

ライオンズクラブ国際財団
300 W. 22nd St. | Oak Brook, IL 60523-8842 USA
+1.630.571.5466 | lcif.org/BE100